

設楽ダム連続公開講座 とよがわ流域県民セミナー

第8回 開催計画（案）

担当：富永・原田

1. テーマ

「豊川の治水計画と治水対策」

河川の治水計画は過去の洪水や大雨の実績や確率を勘案して対処すべき流量を決めます。この流量を河道で安全に流すために、河道に堆積した土砂の掘削、河道内の樹木の伐開、築堤や堤防の強化をしたりするなどの河川改修のための事業が行われています。このような治水計画はどのようにして決められているのかを理解することを目的とします。

決定された流量を河道で安全に流すため、河道の整備（掘削や築堤など）で対応する流量と洪水調節施設（ダムや遊水地など）で対応する流量に分担されています。この中で設楽ダムはどのような役割を果たすのかについても考えます。

豊川ではこれまでに洪水災害を防ぐためにどのような対策が取られてきたのかも理解しておく必要があります。まだ対策は十分とは言えずたびたび浸水被害が発生しています。これからさらに整備を進めるには時間がかかります。また、計画を超える大雨が起こる可能性もあります。豊川には霞堤と呼ばれる堤防が不連続な地区があり、下流の洪水を調節する効果を有していますが、大きな出水時には浸水してしまいます。洪水災害から生命や財産を守るためにはどのように対応すればよいかについても考えます。

2. 開催概要

日 時： 2013年11月30日（土） 13:00～16:30

場 所： 豊川市勤労福祉会館大研修ホール

内 容：

講師1：豊川における治水計画と治水対策について（国土交通省中部地方整備局）

講師2：治水について（新潟大学名誉教授 大熊孝氏）

休憩・質問票記入

質疑応答・ディスカッション